

広域振興局長

提出者 シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場
 住所 〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25
 氏名 工場長 中川 文男

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地2-25	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,289 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	0 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25	2,515 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上南工場	〒024-0051 岩手県北上市相去町平林14-14	625 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北西和賀工場	〒029-5616 岩手県和賀郡西和賀町沢内字泉沢29-2-31	148 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途申請書を作成の上、添付してください。 (A4)



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

県内全工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100		
原油 (コンデンセートを除く)	0 kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	0 kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	0 kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ					
ナフサ	0 kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	523 kℓ	496	2.49 t-CO ₂ /kℓ	1302.9	1252.7	4		
軽油	3 kℓ	3	2.58 t-CO ₂ /kℓ	7.7	13.6	▲ 43		
A重油	0 kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	0 kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	0 t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	0 t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	16 t	21	3.00 t-CO ₂ /t	48.6	53.5	▲ 9	
	石油系炭化水素ガス	0 千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	0 t		2.70 t-CO ₂ /t				
	その他可燃性天然ガス	0 千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³				
石炭	原料炭	0 t		2.61 t-CO ₂ /t				
	一般炭	0 t		2.33 t-CO ₂ /t				
	無煙炭	0 t		2.52 t-CO ₂ /t				
石炭コークス	0 t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	0 t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	0 千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	0 千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	0 千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	0 千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³				
	()	0 ()		t-CO ₂ /()				
	()	0 ()		t-CO ₂ /()				
産業用蒸気	0 GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	0 GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	0 GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	0 GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計		520		1359.2	1319.8	3		
電気	電気事業者	昼間買電	2,732 千kWh	703	0.457 t-CO ₂ /千kWh	1248.7	3240.1	▲ 61
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	4,146 千kWh	1066				
		夜間買電	1,647 千kWh	394	0.457 t-CO ₂ /千kWh	752.6	1902.9	▲ 60
	その他	上記以外の買電 (東北電力ネットワーク)	6,638 千kWh	1672	0.433 t-CO ₂ /千kWh	2874.3	0	#DIV/0!
		自家発電	千kWh					
小計	11,017 千kWh	2769		4875.6	5143	▲ 5		
合計		3289		6234.8	6462.8	▲ 4		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh		t-CO ₂ /千kWh					
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

二酸化炭素排出量2019年度比10%削減を目標に掲げ取り組みを行ったところ、2019年度比3%削減にとどまり目標を達成できなかった。

【具体的な取組状況】

毎月、環境委員会を開催し、部署ごとの省エネ取り組みを計画・実施。
エアリーク測定、および漏れ箇所の是正を実施。
春、秋期間の冷暖房停止活動。
休日、不要時の空気圧縮機、ボイラーの停止。
蛍光灯のLED化。
看板灯の消灯。
毎月エアコンフィルター清掃。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

クールビズ、ウォームビズの実施。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北北上工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	523 kℓ	496	2.49 t-CO ₂ /kℓ	1302.9	1252.7	4		
軽油	kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ					
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	16 t	21	3.00 t-CO ₂ /t	48.6	53.5	▲ 9	
	石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t				
	その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³				
	()	()		t-CO ₂ /()				
	()	()		t-CO ₂ /()				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計		517		1351.5	1306.2	3		
電気	電気事業者	昼間買電	2,017 千kWh	519	0.457 t-CO ₂ /千kWh	921.8	2428	▲ 62
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	3,056 千kWh	786				
		夜間買電	1,184 千kWh	284	0.457 t-CO ₂ /千kWh	541.2	1391.6	▲ 61
	その他	上記以外の買電 (東北電力ネットワーク)	4,748 千kWh	1195	0.433 t-CO ₂ /千kWh	2055.7	0	#DIV/0!
		自家発電	千kWh					
小計	7,949 千kWh	1998		3518.7	3819.6	▲ 8		
合計		2515		4870.2	5125.8	▲ 5		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh			t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北北上南工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	kℓ		2.49 t-CO ₂ /kℓ					
軽油	0 kℓ	0	2.58 t-CO ₂ /kℓ		0			
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO ₂ /t					
	石油系炭化水素ガス	千m ³	2.34 t-CO ₂ /千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	2.70 t-CO ₂ /t					
	その他可燃性天然ガス	千m ³	2.22 t-CO ₂ /千m ³					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO ₂ /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO ₂ /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO ₂ /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³	2.23 t-CO ₂ /千m ³					
	()	()	t-CO ₂ /()					
	()	()	t-CO ₂ /()					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計								
電気	電気事業者	昼間買電	558 千kWh	144	0.457 t-CO ₂ /千kWh	255.0	627.9	▲ 59
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	838 千kWh	216				
		夜間買電	390 千kWh	93	0.457 t-CO ₂ /千kWh	178.3	448.8	▲ 60
	その他	上記以外の買電 (東北電力ネットワーク)	1,542 千kWh	388	0.433 t-CO ₂ /千kWh	667.6	0	#DIV/0!
		自家発電	千kWh					
小計								
合計				625		1100.9	1076.7	2
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量				千kWh		t-CO ₂ /千kWh		
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北西和賀工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	kℓ		2.49 t-CO ₂ /kℓ					
軽油	3 kℓ	3	2.58 t-CO ₂ /kℓ	8.8	13.3	▲ 34		
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO ₂ /t					
	石油系炭化水素ガス	千m ³	2.34 t-CO ₂ /千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	2.70 t-CO ₂ /t					
	その他可燃性天然ガス	千m ³	2.22 t-CO ₂ /千m ³					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO ₂ /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO ₂ /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO ₂ /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³	2.23 t-CO ₂ /千m ³					
	()	()	t-CO ₂ /()					
	()	()	t-CO ₂ /()					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計		3		8.8	13.3	▲ 34		
電気	電気事業者	昼間買電	157 千kWh	40	0.457 t-CO ₂ /千kWh	71.9	184.2	▲ 61
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	251 千kWh	65				
		夜間買電	73 千kWh	17	0.457 t-CO ₂ /千kWh	33.2	62.6	▲ 47
	その他	上記以外の買電 (東北電力ネットワーク)	349 千kWh	88	0.433 t-CO ₂ /千kWh	150.9	0	#DIV/0!
		自家発電	千kWh					
小計		578 千kWh	145		256.0	246.8	4	
合計			148		264.8	260.1	2	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh			t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則 (昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量 (A) の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (2022年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	0 (0)	ℓ	2.32 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	0 (0)	ℓ	2.58 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	0 (0)	kg	3.00 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	0 (0)	kWh	0.457 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	0 (0)		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考 1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項